

# 脱炭素社会の実現に向けたGX推進事業

～ 経済・社会・環境の三側面の好循環を創出し、2050年カーボンニュートラルを目指します！～

寄附目標額  
10,000千円

関連するSDGsのゴール



## 1. 事業概要について

地球温暖化の影響が深刻化しつつある中、本市は2030年度に温室効果ガス排出量を51%削減（2013年度比）し、2050年にカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げています。その達成に向けては、環境だけでなく経済や社会にも着目した地方創生の取組としてのGX施策を推進しています。

## 2. セールスポイントと独自性

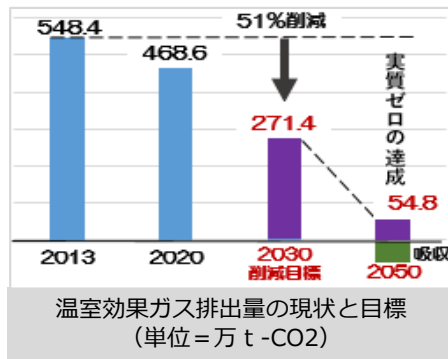
本市は、国が公募した「脱炭素先行地域（エリア内の電力消費に伴うCO2の排出を実質ゼロにする等）」の第1弾（全国で26地域）として**県内で唯一**選定され、地域脱炭素の先導モデルの構築を進めています。また、本市は山間部・港湾部・都市部を有しており、各エリアの特性に応じた、**先進的かつ水平展開可能**な取組を進めています。

企業の皆様のお力添えにより、本市の先進的モデル事業をさらに加速・発展させることで、**日本ひいては世界の脱炭素に貢献**することを目指していきます。

## 3. 現状と課題

### 【現状】

脱炭素先行地域の整備やPPAによる太陽光発電設備の導入促進、水素の利活用拡大に向けた支援などを行っており、2023年度の温室効果ガス削減量は約25.2%（2013年度比）となっています。



### 【課題】

2050年のカーボンニュートラルに向け、2030年度までに2013年度比51%削減の目標を掲げているものの、実現するためには高いハードルを越えなくてはなりません。その達成に向けては、既存の取組の延長にとどめるのではなく、**社会システムやライフスタイルの革新**に向けた脱炭素に資する**技術革新**や新商品・サービスが必要です。



水素ステーションで水素充填中の燃料電池自動車

## 4. ベネフィット

10万円以上

- ・感謝状の贈呈
- ・市HPへ企業名、企業ロゴ、寄附金額、企業概要等の掲載

## メッセージ

GXを推進していくことが世界の潮流にある中、地球温暖化対策に率先して取り組むことは、温室効果ガス排出量が多い指定都市の責務です。本市は、**トップランナーとして全国のモデルになり、地球温暖化を防ぐだけでなく地域の経済・社会の発展に貢献**します。

**将来にわたり安全・安心に暮らせるまちの実現**に向け、是非、ご支援とご協力をお願いします。



脱炭素先行地域として整備中の恩田原・片山エリア

[担当： 環境局 GX推進課 TEL054-221-1611]

